

令和5年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 68
ID 160505

【施設状況】

グループ名称	信州新町めん羊繁殖センター											
指定管理者名	信州新町肉めん羊生産組合							法人番号				
所管課	主	160500	農業政策課		副							
構成施設	1889	信州新町めん羊繁殖センター										
施設分類	03	施設貸出2型			施設利用者圏域		01	地域施設	利用制適用区分	02	利用料金制	
施設概要	・信州新町めん羊繁殖センター 羊舎2棟(北棟640.98㎡、南棟293.76㎡)/管理棟58.32㎡/ワラ保管庫97.20㎡/機械格納庫56.70㎡ 堆肥舎2棟(北棟64.80㎡、南棟50.00㎡)/種オス棟33.48㎡/放牧施設9,400㎡(雑用水施設、牧草地9,400㎡、牧柵550m)											
施設設置目的	めん羊の分娩、飼養、放牧の場を提供することにより畜産業の活性化及び経費の安定化を図る。											
基本方針等	子めん羊生産の基幹施設として、分娩時の事故防止、出生率の向上、安全・安心の農畜産物の提供を第一とし、安定した管理運営を行う。 放牧前の施設点検、施設修理を計画的に実施するなど、安全・安心な施設管理に努める。また、放牧地では一定の草量確保ができるように肥料散布や雑草除去を実施する。											
主な実施事業	めん羊の分娩、飼養、放牧を行う。											

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名		信州新町肉めん羊生産組合			当該指定管理者の 指定回数		3回	
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日5年			当該指定管理者の 管理運営開始日		平成21年4月1日	
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。							評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)							3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年比	3	評価
	めん羊の飼養頭数(延べ)	頭	32,967	31,418	34,684	39,117	113%		
(特記事項)									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・信州新町めん羊繁殖センターの運営管理に関すること ・信州新町めん羊繁殖センター施設及び設備の維持管理に関すること							
	自主事業								
サービス維持・向上の取組み (広報等)									

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り		3
	(2) 調査、会議等の内容 ・めん羊の駆虫検査や組合の総会時に、めん羊農家からの声を随時聞き取りを行っている。			
	(3) 調査、会議等の結果			
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 ・めん羊の個体別に日毎の管理表を記載し、きめ細かな管理を行っている。特に子めん羊については、出荷時期に良質で重量もとれる個体となるよう、徹底した飼養管理を行っている。			
	(2) 苦情・改善等の要望事項			
	《対応措置》			

4 事業収支

No. 68

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和5年度)				市の収支				評価	
		年度計画額		収支実績額			令和5年度決算		令和4年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額	項目	金額
	収入	利用料金	360,000	利用料金	391,170	歳入	使用料		使用料	
		指定管理料		指定管理料			雑(納付金)		雑(納付金)	
	委託料		委託料			行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料		
	販売収入等		販売収入等		貸付料		貸付料			
	その他収入		その他収入		その他		その他			
	計	360,000	計	391,170		計	0	計	0	
支出	人件費		人件費		歳出	指定管理料		指定管理料		
	設備管理費	145,000	設備管理費	136,000		委託料		委託料		
	備品購入費	30,000	備品購入費		需用費		需用費	63,932		
	修繕費		修繕費		役務費		役務費			
	光熱水費	105,000	光熱水費	118,526	使用料・賃借料	291,703	使用料・賃借料	291,703		
	事業費		事業費		修繕費	59,400	修繕費	242,000		
	事務経費	80,000	事務経費	49,140	工事請負費		工事請負費			
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費			
	その他		その他		その他		その他			
	計	360,000	計	303,666		計	351,103	計	597,635	
自主事業	収入		収入							
	支出		支出							
	自主事業損益	0	自主事業損益	0						
損益	0		87,504		差引	-351,103		-597,635		
人件費比率【人件費(賃金等)／令和5年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									0.0%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由										

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 信州新町肉めん羊生産組合 2戸		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	☒	
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	☒	
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いが適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	☒	
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	☒	
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制

※ すべて ☒ で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

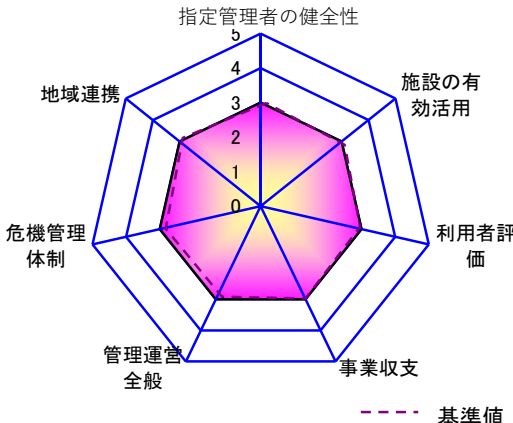
No. 68

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
------	--	--	--

【総合評価】

評価項目		評価	得点	総合評価	
総合評価	指定管理者の健全性	3	6	合計得点	
	施設の有効活用	3	12		
	利用者評価	3	6	60	
	事業収支	3	6		
	管理運営全般	3	12		
	危機管理体制	3	12		
	地域連携	3	6		
	評価理由	・信州新町肉めん羊生産組合は、当施設の運営管理において長年の実績がある。また、めん羊繁殖の技術的なノウハウも豊富なことから、繁殖におけるリスク軽減等、めん羊農家への技術支援にも寄与している。 ・伝染病といった家畜防疫の観点からも、家畜保健衛生所と連絡を密にしながら飼養基準を遵守し、施設の衛生に努める等、安心してできる運営管理を実施している。			
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)		
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・めん羊繁殖センターの利用料収入の安定を図り、施設管理における収支バランスを安定させる。 ・引き続き家畜防疫対策を遵守し、家畜伝染病の発生防止対策を厳守する。				

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・繁殖施設としての役割を十分確保するため、種雄の維持・更新を行い、近親交配の防止を図った。
- ・伝染病等予防の観点から、施設内の清掃と外部からの立ち入りを制限するとともに、消石灰の設置、手指消毒等により、外部からのウイルスの侵入防止を徹底した。
- ・随時、施設内の危険箇所を点検し、めん羊の飼育における事故等の防止に努めた。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・群れごとに管理することにより、労力、スペース等の効率化を図った。
- ・施設内の整理整頓に努め、迅速に異変に気付くよう安全対策を図った。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・めん羊農家の廃業や、繁殖を行わない農家への経営形態の変化により、めん羊繁殖センター利用農家が減少している。
- ・施設管理の主な財源となるめん羊繁殖センター利用料収入が伸び悩む中で、収支バランスを整えるためにも光熱水費等のコスト削減などを徹底する必要がある。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

- ・新型コロナの5類移行したこともあり、外食産業、観光業も回復してきたことから、繁殖や飼養のために繁殖センターに預託した頭数も39,117頭(延べ)まで回復した。
- ・預託頭数の回復に従い、利用料収入も増加し、施設管理に係る収支バランスが回復した。
- ・めん羊の繁殖、飼養においても、事故や病気の発生もなく安全に施設管理が行われた。

② 次年度以降の取組み

- ・随時、施設や備品の点検を行い、安全な施設運営を行う。
- ・安全な繁殖と、健全な羊の飼養支援を実施していく。
- ・計画的な種雄の確保を図る。